

暫定形 R7年度 起工

河川名 塩見川

塩見川広域河川改修工事(18工区)(国補正)

図名 平面図

位置 鳥取市福部町細川

縮尺 1:1000 単位 m

図号 全 5 葉中の内 1

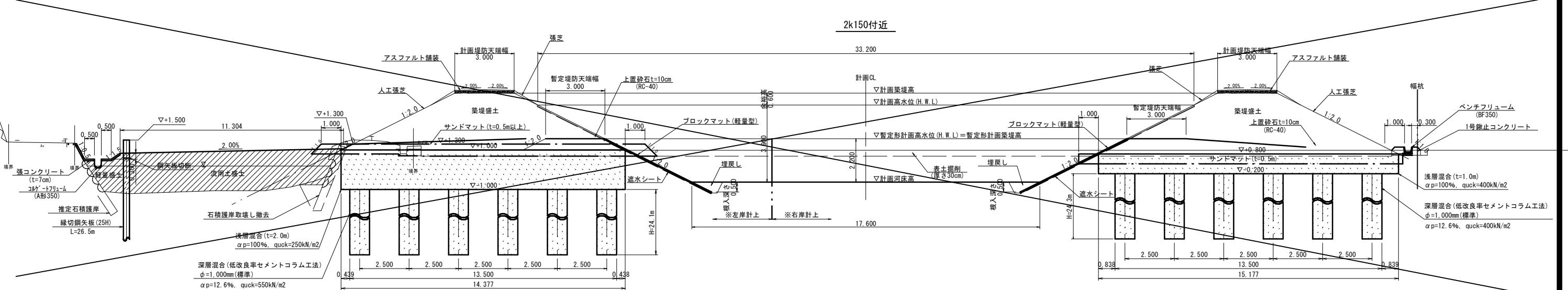
令和 7 年度 施行 鳥取県

鳥取県土整備事務所

A3サイズ出力 図面表示の50%縮小

標準断面図

S=1 : 100



注記14) 縁切り鋼矢板位置は、石積護岸位置を試掘等で確認して決定すること

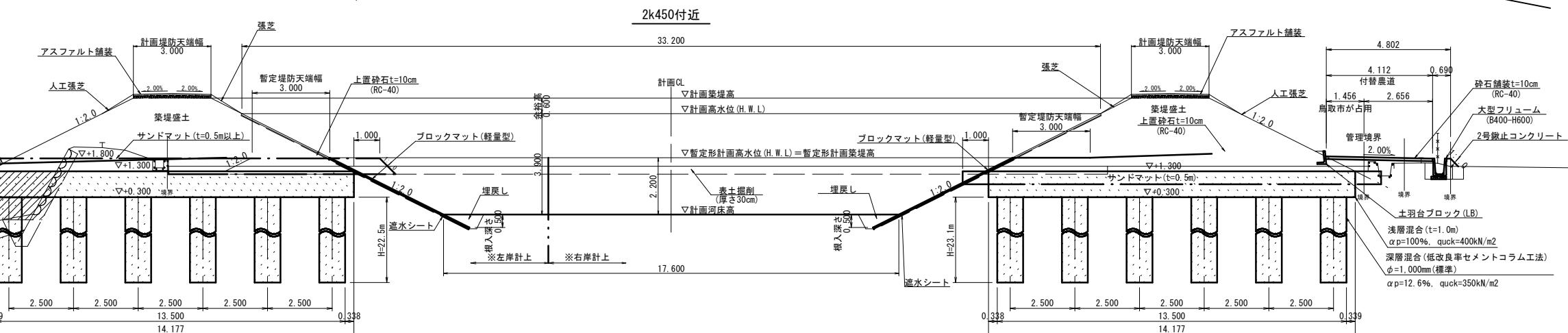
注記15) 縁切り鋼矢板 21150、21200、21250、2k350、21450、21500、21600付近にて

ボーリング調査による着底砂礫層の確認を行い、鋼矢板長を精査すること。

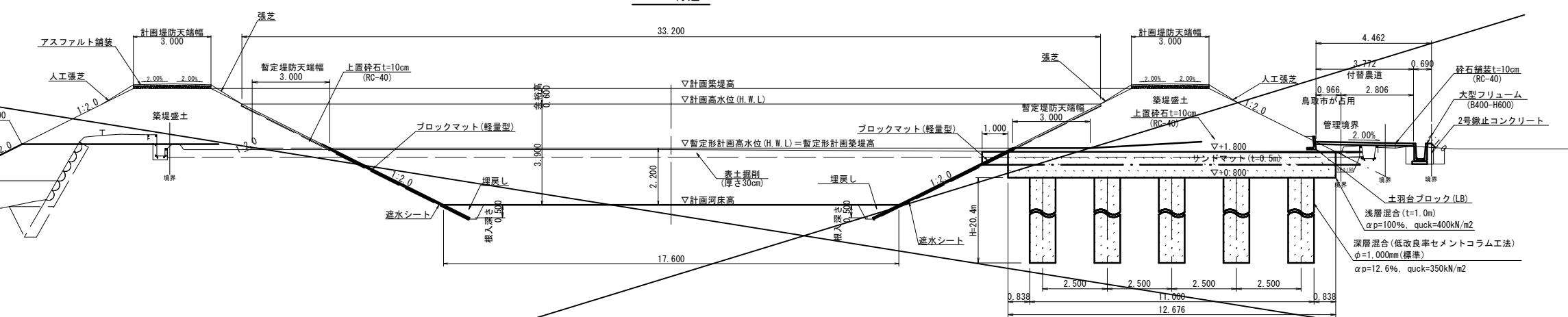
注記16) 左岸地盤改良施工時は、右岸側で現況流下能力以上を確保してから施工する。

注記17) 左岸旧川部の軽量盛土は、ライトサンド同等品以上を使用すること。
注記18) 右岸旧川部の渣用土盛土は、 $\gamma=16kN/m^3$ 以下を使用すること。右岸河岸掘削部

注記18) 左岸旧川部の流用土盛土は、 $\gamma = 16\text{kN/m}^3$ 以下を使用すること。右岸河道掘削土等をセメント改良して流用予定で、通常施工可能なコーン指指数400kN/m²以上を確保すること。



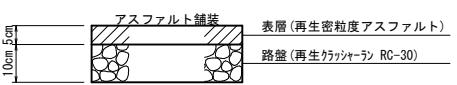
2k600付近



堤防舗装構成

凡例

注記1) 地下埋設物は、各台帳等から図示したものであり、必要に応じて管理者と協議を行い、 診断等で確認する必要がある

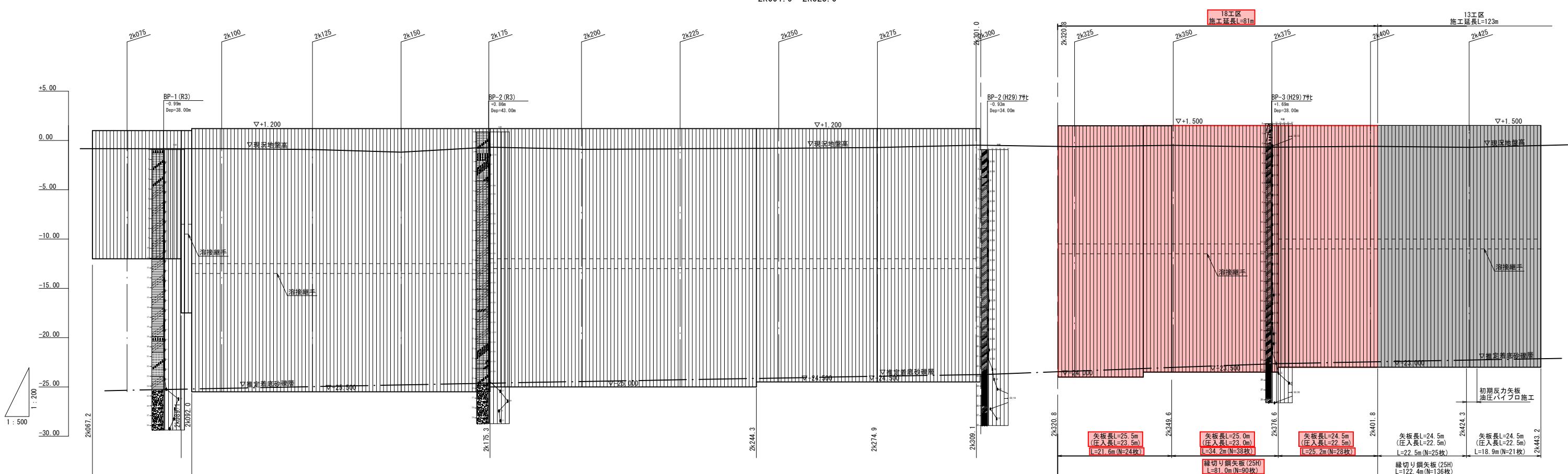


暫定形 R7年度 起工			
河川名	塩見川		
塩見川広域河川改修工事(18工区) (国補正)			
図名	標準断面図		
位置	鳥取市福部町細川		
縮尺	図示	単位	m, cm, mm
図号	全5葉中の内2		
令和7年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

縁切り鋼矢板展開図(参考図)

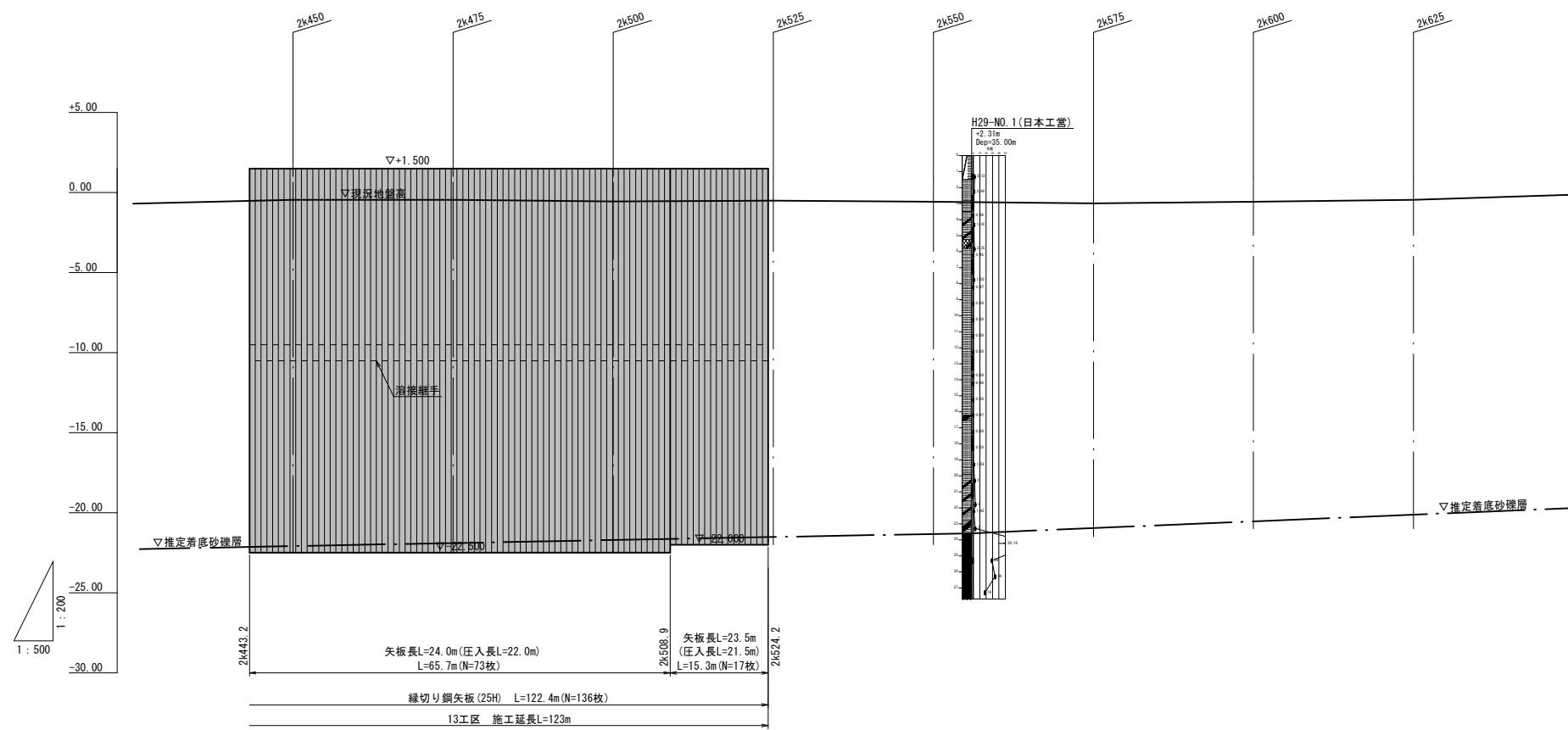
V=1:200
H=1:500

2k091.9~2k625.0

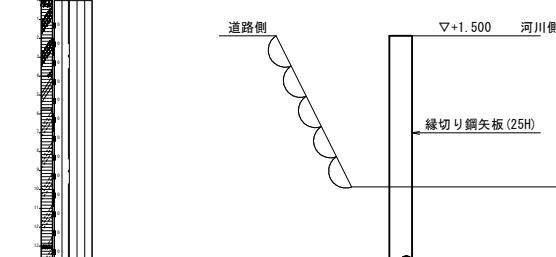


縁切り鋼矢板継手配置図

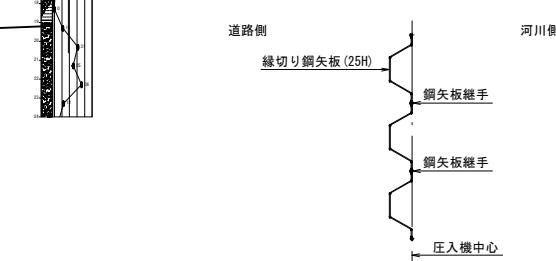
S=1:50



断面図



平面図

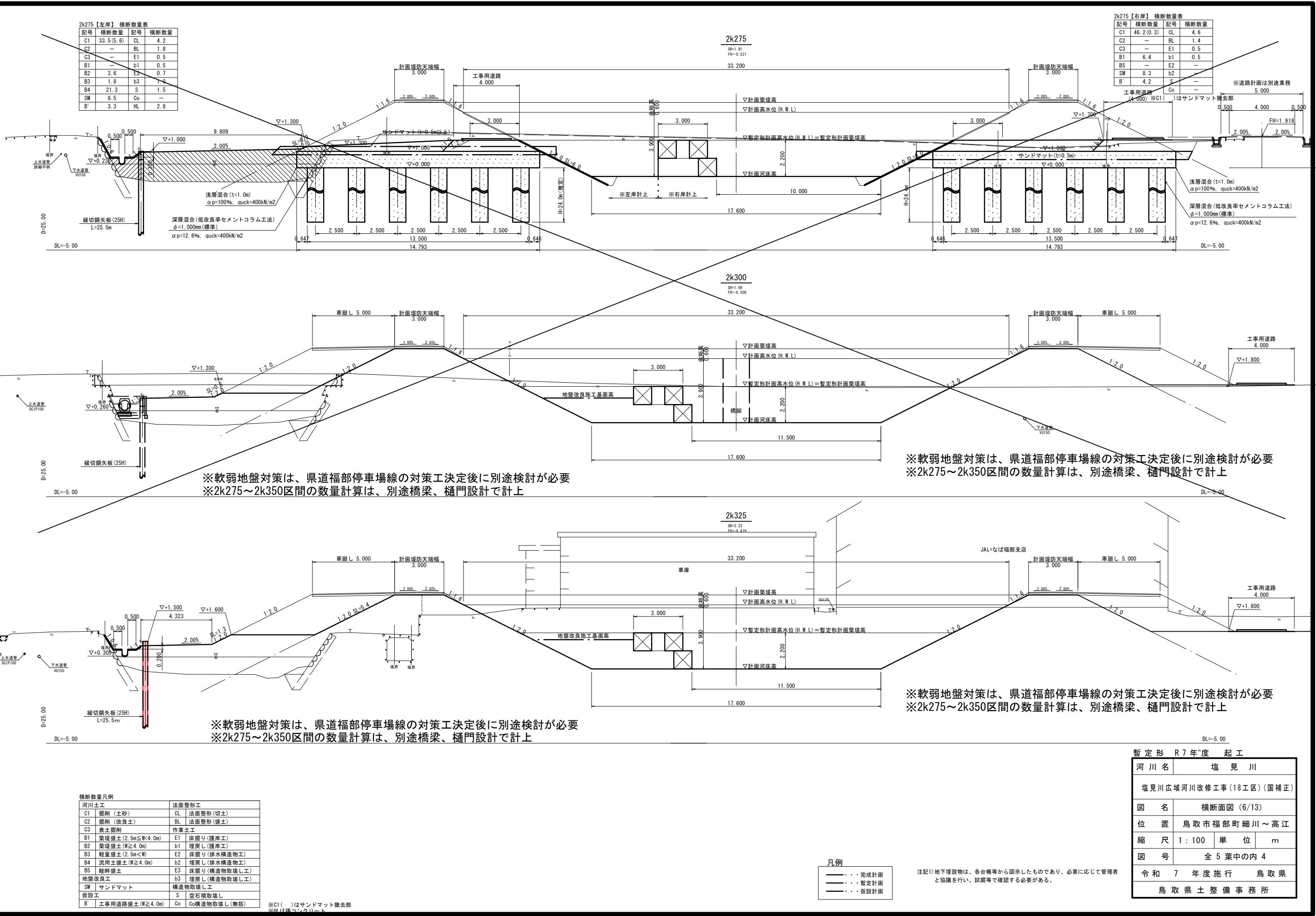


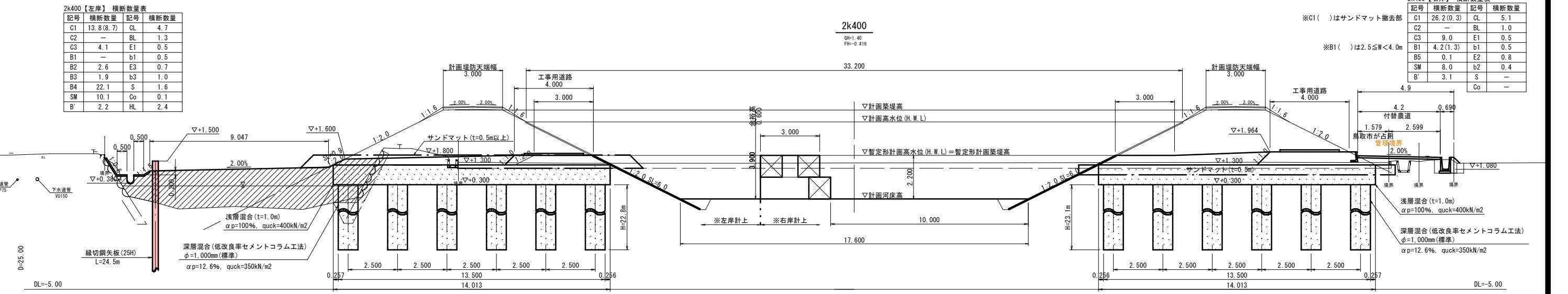
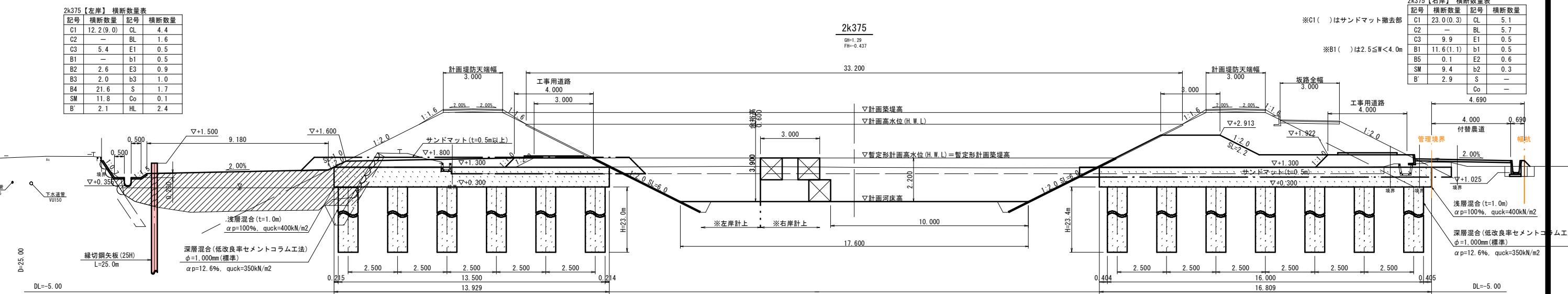
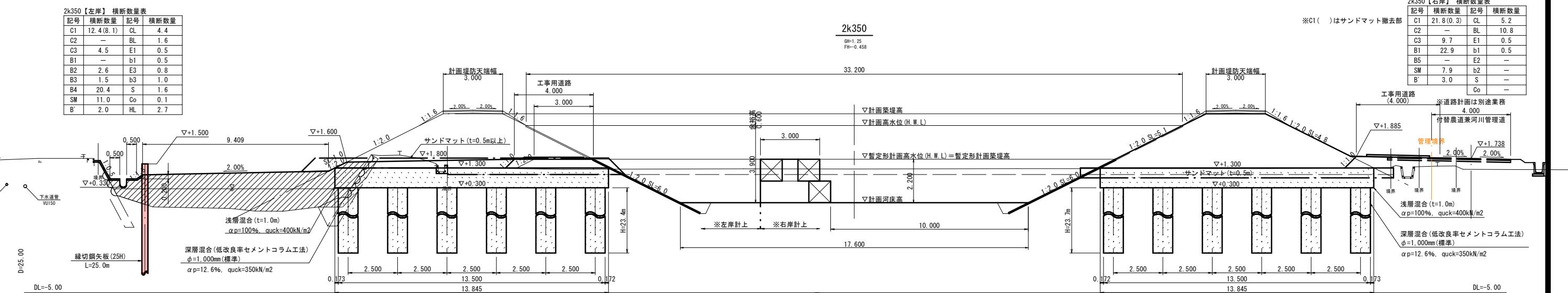
暫定形 R7年度起工

河川名	塩見川					
塩見川広域河川改修工事(18工区)(国補正)						
図名	縁切り鋼矢板展開図					
位置	鳥取市福部町細川	縮尺	図示単位 m			
図号	全5葉中の内 3					
令和7年度施工 鳥取県						
鳥取県土整備事務所						

A3サイズ出力 図面表示の50%縮小

注記1) 施工時には、#2350、#2360、#2370、#2380、#2390付近にてボーリング調査による着底砂礫層の確認を行い、鋼矢板長を精査すること。
注記2) 溶接継手は、隣接する継手部と同一水平面上に並ばないように配置すること。
注記3) 溶接継手構造は、鋼矢板・設計から施工まで 2014(钢管杭・鋼矢板技術協会)p.371に準拠すること。
注記4) 鋼矢板継手位置は、圧入機の中心位置を河川側にために河川側に配置すること。





横断面数凡例		法面整形工	
河川土工		CL	法面整形(切土)
C1	掘削(土砂)	BL	法面整形(盛土)
C2	掘削(改良土)		
C3	表土掘削		作業土工
B1	築堤盛土(2.5m≤W<4.0m)	E1	床掘り(護岸工)
B2	築堤盛土(W≥4.0m)	b1	埋戻し(護岸工)
B3	軽量盛土(2.5m<W)	E2	床掘り(排水構造物工)
B4	流用土盛土(W≥4.0m)	b2	埋戻し(排水構造物工)
B5	畔壁盛土	E3	床掘り(構造物取壊し工)
地盤改良工		b3	埋戻し(構造物取壊し工)
SM	サンドマット		構造物取壊し工
仮設工		S	空石積取壊し
B	工事用道路盛土(W≥4.0m)	Co	Co構造物取壊し(無筋)

※C1()はサンドマット撤去
※H1は張コンクリート

凡例

完成計画
暫定計画
仮設計画

注記1) 地下埋設物は、各台帳等から図示したものであり、必要に応じて管理者と協議を行い、試掘等で確認する必要がある。

暫定形 R7年度起工			
河川名	塩見川		
塩見川広域河川改修工事(18工区)(国補正)			
図名	横断面図(7/13)		
位置	鳥取市福部町細川		
縮尺	1:100	単位	m
図号	全5葉中の内5		
令和7年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

